

館山市学校給食センター整備運営事業 学校等の現地確認を踏まえた質問回答書

平成30年11月30日

| 質問番号 | 項目      | 質問内容  | 回答   |
|------|---------|---|--|
| 1    | 配送車両    | <p>神余小学校、館山幼稚園、第二中学校の配膳室までの経路の幅が狭く厳しいため、現在の館山市学校給食センターで使用している各種の配送車両（荷台を含め）の全長、全幅、全高などの仕様がわかる図面をご教示いただきたくお願い致します。また、現在のコンテナサイズと、配送車両各号車の荷台にコンテナを積載する際の積載図（どのようなかたちでコンテナを荷台に積載をしているのか）をご教示いただきたくお願い致します。</p>   | <p>現在使用している配送車両の使用につきましては、車検証の記載内容ですが長さ614cm、幅202cm、高さ296cmの車両（館山幼稚園）が1台、長さ605cm、幅188cm、高さ293cmの車両（神余小学校、第二中学校）が2台、長さ604cm、幅205cm、高さ294cmの車両が2台で、いずれも最大積載量は3,000kgです。<br/>また、現在使用するコンテナのサイズにつきましては、横125cm、奥行73cm、高さ142cmであり、積載方法はコンテナを縦方向に積載し3台×2列で最大6台積載可能です。</p> |
| 2    | 配膳室等の改修 | <p>要求水準書の添付資料1 厨房機器リスト（2）品番G 7 配送コンテナの外形寸法（m/m）が開口1340、奥行850、高さ1600とございますが、こちらのコンテナ仕様や給食センターのGLに基づいて、配送車両（荷台を含め）の全長、全幅、全高などの仕様が決定することになります。事業者選定後、最終的に配送車両の仕様が決定し、配送対象校において改修の必要性が生じた場合は、事故防止などのため貴市のご負担で改修をしていただけるという理解でよろしいでしょうか。例えば、一例として第一中学校、第三中学校、那古小学校などでは、プラットフォーム下にある車止め等の工作物から、プラットフォームまでの距離が非常に広く、配送車両のあおりが届きませんので車止め等の工作物の改修が必要になります。</p> | <p>配送対象校等の改修が必要な場合は市で改修を行います。</p>  |
| 3    | 学校待機    | <p>配送対象校への配送回収計画の策定するにおいて、午前中の配送業務終了後から午後の回収業務を行う時刻まで、配送対象校で配送車両を待機をさせておくことは可能という理解でよろしいでしょうか。</p>  | <p>現在配送車両の配送対象校等へ配送後の待機場所については、午後の回収箇所の敷地内またはその周辺に待機することは可能です。</p>   |
| 4    | 配送車両    | <p>配送校見学の際に、現状の配送車はパワーゲートがついていないとお聞きいたしました。そのため、配膳室の改修工事においては配送車の仕様としてパワーゲート付ではないことを前提としているとの理解でよろしいでしょうか。</p>  | <p>各配送校等においてプラットホームの高さを調整している箇所がありますので高さの調整は市が改修工事を行いますが、基本的には高さは統一されていることから、パワーゲートは想定していません。事業者側の提案で配送時と回収時の重量の違い等の理由でパワーゲートを採用するかの判断は委ねます。</p>   |